

# PRsj

PUBLIC RELATIONS  
SOCIETY OF JAPAN

# NEWS

2012年11月

NO. 235

**TOPICS**

「立ち止まって考えるソーシャルメディア」

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 理事 小西池 透  
MESSAGE P3

「広報PRアカデミー2012」

プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ

11月よりアカデミーヒルズにて開講」

ATTENTION P4

「広報PRアカデミー2012」

PRプランナー3次試験対応講座を12月開講」

ATTENTION P5

「第12回1次試験を2013年3月3日に実施

受験予約開始は12月3日(月)から！」

ATTENTION P6

「2012年度日本PR大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」・

「シチズン・オブ・ザ・イヤー」及び

「PRアワードグランプリ」今後の予定

ATTENTION P7

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号 六本木ヒルズノースタワー5F

電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL <http://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F

電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人: 森 健

# 11月号 目次

11月・12月のスケジュール	-----	1
MESSAGE(メッセージ)	「立ち止まって考えるソーシャルメディア」	----- 3
ATTENTION(お知らせ)	「広報PRアカデミー2012「プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ」を11月より開講」	----- 4
〃	「広報PRアカデミー2012「PRプランナー3次対応講座を12月開講」	----- 5
〃	「第12回1次試験を2013年3月3日に実施 受験予約は12月3日(月)から！」	----- 6
〃	「2012年度「パ・ソン・オブ・ザ・イヤ-」「シズン・オブ・ザ・イヤ-」「PRアワードグランプリ」今後の予定」	----- 7
BULLETIN(活動報告)	「第10回PRプランナー認定が終了 109名のPRプランナーが誕生し、累計1311名に！」	----- 8
〃	「第41回親睦ゴルフ会 日本カントリークラブで開催」	----- 11
〃	「第6回広報活動研究会開催報告」	----- 11
〃	「第8回広報ゼミ開催報告」	----- 11
〃	「第23回PRスキル研究会開催報告」	----- 12
REPORT(講演レポート)	「第142回定例研究会報告」	----- 12
〃	「第46回プレミアム・インセンティブショウ秋2012 尾関謙一郎氏がセミナーで講演」	----- 13
PR TREND(PRトレンド(国内))	「ELトレンド指数で見るキーワード・ランキング2012年9月度」	----- 14
PR TREND(PRトレンド(関西))	「関西の風:安うて、美味いんのんが当たり前」	----- 15
PLAZA(会員便り)	「帝人 宇佐美広報室長の「企業広報功労・奨励賞」受賞を祝う会が盛大に開催」	----- 16
〃	「(株)タカオ・アソシエイツが「広報ツールの手引き」を作成 「手引きシリーズ」第2弾」	----- 17
PRSJ in Media	「10月度協会掲載記事」	----- 18



## 11月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会（11月度）	日 時	： 11月13日（火）	12：00～14：00
	場 所	： 六本木ヒルズクラブ	
幹部会（経営会議）（11月度）	日 時	： 11月13日（火）	10：30～11：45
	場 所	： 協会会議室	
教育委員会（11月度）	日 時	： 11月 7日（水）	11：00～13：00
	場 所	： 協会会議室	
資格委員会（11月度）	日 時	： 11月22日（木）	17：30～18：30
	場 所	： 協会会議室	
交流委員会（11月度）	日 時	： 11月15日（木）	12：00～13：30
	場 所	： 協会会議室	
広報委員会（11月度）	日 時	： 11月21日（水）	16：00～18：00
	場 所	： 協会会議室	
PR小委員会（11月度）	日 時	： 11月21日（水）	14：00～16：00
	場 所	： 協会会議室	
顕彰小委員会（11月度）	日 時	： 11月21日（水）	12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室	
企業部会幹事会（11月度）	日 時	： 11月 8日（水）	13：30～14：30
	場 所	： 協会会議室	
PR業部会幹事会（11月度）	日 時	： 11月14日（水）	16：00～18：00
	場 所	： 協会会議室	
IT委員会（11月度）	日 時	： 11月 2日（金）	12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室	

## 立ち止まって考えるソーシャルメディア

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会  
理事 小西池 透

世はまさにソーシャルメディアの時代と言われている。既存のマスメディアや企業は日々その対応に追われているが、一方で使用目的や効果があはつきりせず、使用すること自体が目的化している例も散見される。「ソーシャルメディアをいかに活用していくか」、走りながら考えるのではなく、一度立ち止まって考えてみてはと感ずる今日この頃である。

ソーシャルメディア白書 2012 によると、ソーシャルメディアの利用率は 57% と情報媒体として確実に定着しつつある。スマートフォンの普及とともにこの率はさらに向上し、電話やインターネットと同様に日常のインフラとして我々の生活に組み込まれていくであろう。しかし、事業への活用という視点で見ればどうか。一時、ソーシャルメディアによるプロモーションが主流になると喧伝され、「これからはソーシャルマーケティングで関係性を構築する時代」などと言われたりもした。利用者の急激な増加に伴い、ソーシャルメディアは既存のマスメディアに代わる新しくて安価な発信メディアと捉えられていた感がある。しかしそう考えて広報・宣伝部門が立ち上げた大半のアカウント（特に発信だけに特化したもの）が、担当者の業務負荷の増大と疲弊をもたらし、効果への疑問符をつきつける結果をもたらしているのもまた事実である。

こうした実態を踏まえれば、ソーシャルメディアの本質はメディアというよりもまさにコミュニケーションツールに近いものではないだろうか。「ソーシャルメディアのアカウントを持つということはメールアドレスを取得するのと同じようなものだ」と例える関係者もいる。それが現実だとすれば、誰かと受発信（コミュニケーション）を続けなければソーシャルメディアを活用する意味はなくなってしまう。またメール同様、具体的なコミュニケーションの積み重ねだけが、ファン作りを可能にする。そのステップは多くの時間を要し、恐ろしく労働集約的でもある。

ただ、メールと違うのは第三者に対してもオープンなコミュニケーション手段であり、共感が得られれば広く拡散する可能性がある点だ。つまり、拡散を狙って発信するのではなく、最初にコミュニケーションをとりたい相手の存在があり、そのコミュニケーションが行なわれた結果、共感とともに拡散するということである。また一方でソーシャルメディアは、これまで広報・宣伝部門が独占してきた外部とのコミュニケーションを、社内の各部門に解放するという性格も持っている。広報・宣伝部門のみならず、各部門にどのような活用を促すのか、本当にコミュニケーションツールとして使いこなせるのか、企業には難しい課題が突き付けられているが、その解決に向けて今こそ次の一歩踏み出していかなければならない。

広報PRアカデミー2012

## 広報PRアカデミー2012 「プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ」を 11月よりアカデミーヒルズにて開講

教育委員会

協会では、11月14日より来年3月にかけて、「広報PRアカデミー2012」の一環として、広報・PRの実務者の養成をめざす「プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ」5講座を六本木アカデミーヒルズ49にて開講します。

「プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ」は、事業会社の広報部門やPR会社における広報・PRの第一線で活躍する実務者を対象としており、コーポレート、マーケティング/ブランド、CSR、クライシス、グローバルの5つのコミュニケーション分野において、より高いレベルにおける業務の遂行に不可欠な広報・PRの専門的知識や理論、考え方などの習得をめざす実務能力強化講座です。昨年まで3期にわたり開講した「マネジメントコース」の内容や実施要領を全面的に見直し、教育効果の高いより洗練された内容に強化をはかり、いっそう受講しやすいプログラムとして企画されています。

広報・PRのプロフェッショナルを志し、現場で活躍する実務者の皆様に受講をお薦めいたします。なお、本講座の詳細及び受講申込方法については、協会のWebサイト「セミナー/イベント」ページをご参照ください（以下URL）。

<http://event.prsj.or.jp/event/advanced/professional>

### ■「プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ」の概要

日程	講座時間	講座テーマ	講師	申込締切	会員料金 (消費税込)
11月 14日 (水)	19:00 ～ 21:00	[講座1] コーポレート・コミュニケーションの 概念・任務と戦略・計画の立案	株野村総合研究所 コーポレートコミュニ ケーション部長 野村武史氏	11月 9日 (金)	[講座1] [講座3] [講座5] 各 9,450円
12月 12日 (水)	17:00 ～ 21:00	[講座2] マーケティング/ブランドの基礎理 論と戦略的なコミュニケーション活 動への応用	中央大学大学院 戦略経営研究科 教授 田中洋氏	12月 7日 (金)	[講座2] [講座4] 各 18,900円
1月 30日 (水)	19:00 ～ 21:00	[講座3] 経営課題としてのCSRと広報・PR 戦略の推進	帝人(株) 広報IR室長 宇佐美吉人氏	1月 25日 (金)	※会員料金。 法人正会員社 員、もしくは個人 正会員ご本人様のみ。
2月 13日 (水)	17:00 ～ 21:00	[講座4] 危機管理の心構えとクライシス・コ ミュニケーション推進のポイント	株田中危機管理 広報事務所 代表取締役社長 田中正博氏	2月 8日 (金)	※PRプランナ ー、一般は別 途設定
3月 13日 (水)	19:00 ～ 21:00	[講座5] 世界に向けたグローバル・コミュニ ケーションの戦略と活動(仮題)	選定中	3月 8日 (金)	

## 広報PRアカデミー2012

## PRプランナー3次試験対応講座を12月開講

## — 第11回3次試験の受験準備に最適 —

教育委員会

協会では、PRプランナー資格検定3次試験の合格をめざす「PRプランナー3次試験対応講座」を、来る12月4日(火)より1月22日(火)まで、6回にわたり六本木・アカデミーヒルズで開講します。

「PRプランナー3次試験対応講座」は、3次試験で出題されるニュースリリースの作成や広報・PR計画の立案に関する課題解決に必要な知識とスキルを短期間で効果的に習得することを目的としており、PRプランナー3次試験の受験準備として最適です。今回も株式会社ミラ・ソルの田代 順氏、株式会社インテグレート/赤坂幸正氏、株式会社電通パブリックリレーションズの岡本純子氏の3名のベテラン講師がそれぞれの分野を2回ずつ担当、合格をめざす受験者の取り組みを支援します。今年7月に開講した講座では受講者多数が第10回3次試験に合格し、PRプランナーの称号を手に入れています。



なお、本講座は、インターネットの活用により時と場所を選ばない履修を行えるWeb受講、アカデミーヒルズにおけるグループワーク等により高い履修効果を得ることのできる会場受講のいずれかを、ニーズにあわせて申し込むことができます。

講座の詳細と受講申込みは協会Webサイトの「セミナー/イベント」のページをご参照ください(以下URL)。

[http://event.prsj.or.jp/event/prp/3rd\\_exam](http://event.prsj.or.jp/event/prp/3rd_exam)

## ■PRプランナー認定3次試験対応コースの概要

日程	講座テーマ	講座概要	講師	受講料	申込締切
12月4日・ 12月11日	「合格する ニュースリ リースの作 成法」	課題に基づくニュースリ リースの作成に必要な知識、ス キルを講義と演習で学ぶ	田代 順 氏 (株)ミラ・ソル/代表 取締役)	会場受講+ Watershed 視聴 日本PR協会会員 社員 31,500円 PRプランナー(准・ 補)取得者 42,000円 一般 47,250円 Watershed 視聴のみ 会員・PRプラン ナー一般とも 31,500円	会場受講+ Watershed 視聴 11月30日 (金)まで Watershed 視聴のみ 11月29日 (木)まで
12月18日・ 1月8日	「広報・PR 企画の立案 作成(マー ケティング 分野)」	マーケティング課題に基づく 広報・PR計画の企画立案に 必要な知識、スキルを講義と 演習を通じて学ぶ	赤坂幸正 氏 (株)インテグレート/ ダイレクター)		
1月15日・ 1月22日	「広報・PR 企画の立案 作成(コー ポレート分 野)」	コーポレート課題に基づく広 報・PR計画の企画立案に必 要な知識、スキルを講義と演 習を通じて学ぶ	岡本純子 氏 (株)電通パブリック リレーションズ/シニ アコンサルタント)		

日本PR協会会員社員の受講料は、法人正会員社員、もしくは個人正会員ご本人様のみとなります。

## 第12回1次試験を2013年3月3日に東京・大阪・福岡で実施 受験予約開始は12月3日(月)から!

### 資格委員会

第12回PRプランナー資格検定1次試験の受験者募集受付を、12月3日(月)の午前10時から開始いたします。

今回も昨年の第10回に引き続き、東京・大阪会場以外に、福岡(定員:80名)でも実施いたします。さらに2013年5月に実施されます2次試験でも、東京・大阪会場以外で、福岡でも実施いたしますので、福岡近隣の方は、是非この機会をご利用いただければ幸いです。

本制度は2007年より発足しすでに11回の試験を実施、難関を突破し資格を取得した1,311名のPRプランナーが一般企業、PR会社、政府機関や自治体等で活躍しています。受験を予定されている会員社員の皆様には、早目のお申込みをお勧めいただければ幸いです。併せて、受験の促進につきまして、引き続き皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、1次試験の試験日は、2013年3月3日(日)(会場:東京、大阪、福岡)となります。詳細は、日本PR協会の資格制度専用Webサイト(<http://pr-shikaku.prsj.or.jp/>)をご覧ください。

#### 第12回1次試験 実施概要

試験日	2013年3月3日(日)
会場※1	東京会場:法政大学市ヶ谷キャンパス 大阪会場:毎日インテシオ 福岡会場:福岡建設会館(地下鉄空港線 東比恵駅 下車徒歩2分)
募集定員	東京会場:400名、大阪会場・福岡会場※2:各80名
受験応募・申込方法	資格制度Webサイトで受験予約を行った上で申込書を郵送
受験予約期間	2012年12月3日(月)~2013年1月18日(金)
申込書送付期間	2012年12月4日(火)~2013年1月25日(金) <必着>

#### 第12回2次試験 実施概要

試験日	2013年5月19日(日)
会場※1	東京会場・大阪会場・福岡会場※2
受験予約期間	2013年3月18日(月)~4月5日(金)
申込書送付期間	2013年3月19日(火)~4月12日(金) <必着>

※1 実施会場は変更する場合がございますので、予めご了承ください。

※2 福岡の最少実施人数は20名となります。福岡会場での受験者が、20名に満たない場合は、受験料のご返金、もしくは東京・大阪いずれかの会場に変更となりますので、予めご了承ください。

<東京会場>  
会場 法政大学市ヶ谷キャンパス



<大阪会場>  
会場 毎日インテシオ



<福岡会場>  
会場 福岡建設会館



## 2012年度 「パーソン・オブ・ザ・イヤー」 「シチズン・オブ・ザ・イヤー」 「PRアワードグランプリ」 今後の予定

広報委員会 顕彰小委員会

2012年度から、協会が公益法人に移行したことを記念して、従来の「PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」とは別に、「PRシチズン・オブ・ザ・イヤー」を新設、表彰することに致しました。

これは、「地道で独創的な広報・PR活動」の掘り起しを目的に、一般にはあまり知られていないが、企業や市井で長年にわたり独創的な広報・PR活動を実践し、広く社会や地域あるいは団体の発展に寄与し、奨励に値する成果を収めた人またはグループ（NPOを含む）を公益法人として認定・顕彰するものです（ただし協会会員及び協会会員とビジネス関係にある個人・グループは対象外とします）。

また、この2つの部門を総称する名称として「日本PR大賞」を冠に、それぞれ「日本PR大賞パーソン・オブ・ザ・イヤー」と「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」にすることも併せて決定されました。

「パーソン・オブ・ザ・イヤー」については、広報委員会 顕彰小委員会ならびにプロジェクトチームの予備選考を経て絞り込んだ方々を、11月5日、会員の皆様に投票をお願いいたしました。その際に「シチズン・オブ・ザ・イヤー」については、具体的な候補事例を参考いただき、会員の皆様からも適任者を推薦し、それをふまえて委員会で協議・決定することとなりました。

今後の進行として、11月5日に会員各位へ投票を依頼（16日締切）、11月度小委員会で両部門の候補者を最終決定し、各候補者へ折衝、12月度理事会で承認という流れで進めていく予定です。

「PRアワードグランプリ」は10月31日（水）、作品のエントリー募集を締め切り、部門審査に入ります。

部門審査は各部門（コーポレート・コミュニケーション部門／マーケティング・コミュニケーション部門／ソーシャル・コミュニケーション部門／イノベーション部門）各5名の審査員で構成され、部門ごとに一同に会し、エントリーシート及び添付資料を基に審査します（残念ながら今年度はイノベーション部門のエントリーはありませんでした）。

審査のポイントは、「課題の重要度または難易度・課題解決のための戦略性または独創性・目標に対する直接的成果及び間接的成果・活動内容の専門性または完成度・社会的または業界的影響力」です。この部門審査で最終審査会へ通過する各部門3作品（予定）が決まります。

最終審査は部門審査通過作品（9作品予定）のプレゼンテーションによる審査で、12月6日（木）六本木アカデミーヒルズ49「オーディトリウム」で行われます。

審査は外部から特別審査員（4名）と各部門審査委員長（4名）及び会員・一般審査員（公募50名）で行い、グランプリ1作品、最優秀部門賞3作品、優秀賞5作品を決定します。表彰式は最終審査会終了後、同会場にて引き続き行います。

会員審査員の公募は、11月下旬に事務局からご案内しますので、ぜひご応募ください。会員の代理者の応募でもかまいません（1社から2名に審査権が与えられます）。

Ustreamでのライブ配信ですが、最終審査会終了後の表彰式のみを配信いたします。ご了承ください。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

## 第10回PRプランナー認定が終了 109名のPRプランナーが誕生し、累計1311名に！

資格委員会

今年7月に実施された第10回PRプランナー資格検定3次試験の合格者113名のうち109名の方が、審査を経て、PRプランナーの資格を取得されました。

ここに、長期間にわたるご奮闘に敬意と祝意を表してご氏名を公表させていただきますとともに、今後のさらなるご研鑽とご活躍を期待いたします。

また、ご協力いただきました関係者の皆様、大変ありがとうございました。

なお、今回合格されましたPRプランナーのプロフィールは下記の通りです。

### <第10回PRプランナー 所属別プロフィール>

	PR関連会社	一般企業 (広報・PR 関連部署)	一般企業 (その他の 部署)	各種団体	教育機関	自治体・ 行政機関	その他	全体
男性	19人	27人	4人	3人	2人	3人	4人	62人
女性	9人	29人	3人	0人	0人	2人	4人	47人
合計	28人	56人	7人	3人	2人	5人	8人	109人

### <PRプランナー 年齢別プロフィール>

	20代	30代	40代以上	合計	全体比
男性	10人	28人	24人	62人	56.6%
女性	9人	32人	6人	47人	43.4%
合計	19人	60人	30人	109人	100.0%
全体比	17.4%	55.0%	27.5%	100.0%	

### <第1~10回PRプランナー 累計所属別プロフィール>

	PR関連会社	一般企業 (広報・PR 関連部署)	一般企業 (その他の 部署)	各種団体	教育機関	自治体・ 行政機関	その他	全体
男性	281人	316人	47人	7人	13人	23人	33人	720人
女性	200人	309人	34人	6人	7人	12人	23人	591人
合計	481人	625人	81人	13人	20人	35人	56人	1311人

### <第1~10回PRプランナー 累計年齢別プロフィール>

	20代	30代	40代以上	合計	全体比
男性	123人	338人	259人	720人	55.0%
女性	145人	331人	115人	591人	45.0%
合計	268人	669人	374人	1311人	100.0%
全体比	20.5%	51.0%	28.5%	100.0%	

## 2012 年度前期(第 10 回) PRSJ認定PRプランナー

(50 音順/敬称略)

◇個人名、所属団体・企業名で掲載了承をいただきました方

相山 大輔 (株産業編集センター)	青木 之 (株サン・クリエイティブ・パブリシティ)
安部 浩之 (三菱UFJニコス株)	飯野 基 (中日新聞 東海本社)
内場 裕子 (文部科学省)	靱 恭彦 (大日本印刷株)
枝野 彰彦 (富士生命保険株)	戎 俊行 (西日本高速道路株)
大崎 知典 (株博報堂プロダクツ)	大島 一豊 (有マーケティングメソッド研究所)
大西 美穂子 (株インタートレード)	
大林 佐也加 (ジョンソン・エンド・ジョンソン株ビジョンケアカンパニー)	
大山 妙子 (GMOメイクショップ株)	小野 巧 (日本郵政株)
小野田 司 (ジヤトコ株)	河野 晴美
川東 麻由子 (株セガ)	川村 匡 (文部科学省)
河本 栄士 (西日本高速道路株)	京極 靖司 (西日本高速道路株)
河野 未来 (オルビス株)	後藤 大典 (株ラブレ)
小林 正樹 (ソーシャルワイヤー株)	近藤 剛史 (弁護士法人みお)
澤竹 大輔 (株タカオ・アソシエイツ)	鈴木 勇紀 (アクサ生命保険株)
瀬 順弘 (公益財団法人立川市地域文化振興財団)	太古 益樹 (株日本経済広告社)
高山 幸一 (株エドベック)	田代 信行 (株コンセント)
田中 啓介 (株ヤマハミュージックメディア)	辻田 健作 (株ブレインパッド)
中川 博人 (ドコモ・ヘルスケア株)	中東 郁子
長沼 史宏 (YKK AP株)	中村 憲太 (学校法人武庫川学院)
西間木 美幸 (株セブン銀行)	野々山 裕記 (西尾信用金庫)
野村 和徳 (遠州鉄道株)	萩 佑 (株ノーザンクロス)
橋本 朋枝 (リコーITソリューションズ株)	長谷川 絢子 (株電通パブリックリレーションズ)
藤田 謙 (小田急箱根ホールディングス株)	牧原 雅規 (株ユニバーサルホーム)
松尾 雄介 (株電通パブリックリレーションズ)	松沢 典明 (有ソリッドノート)
水井 俊充 (株フリーマン)	宮脇 久美 (株アンデルセンサーサービス)
茂木 直子 (富士通株)	山崎 沙緒里 (オリンパス株)
山崎 亮平 (SGホールディングス株)	山田 和男 (株ユースプランニングセンター)
山田 順子 (株神戸新聞事業社)	山村 尚志 (株ゼンリン)
山本 佳子 (株十字屋)	横須賀 愛 (大日本印刷株)
横山 敬史 (リコージャパン株)	吉田 潤子 (株NTTデータ)
吉富 太郎 (ニフティ株)	

◇個人名、所属団体・企業種別で掲載了承をいただきました方

貴田 幸 (一般企業(広報・PR関連部署))	熊倉 完至 (一般企業(広報・PR関連部署))
近内 健晃 (一般企業(広報・PR関連部署))	関根 真理 (一般企業(広報・PR関連部署))
武澤 桂一 (一般企業(広報・PR関連部署))	中嶋 涉 (一般企業(広報・PR関連部署))
平田 まりや (一般企業(広報・PR関連部署))	藤井 賢 (その他)
安田 圭太 (一般企業(広報・PR関連部署))	山崎 佳美 (一般企業(その他の部署))

◇所属団体・企業名で掲載了承をいただきました方

㈱NTTデータ…女性1名

㈱エル・ビー・エス…女性1名

㈱オズマピーアール…男性1名

㈱神戸ポートピアホテル…女性1名

大同特殊鋼㈱…男性1名

㈱テレビ東京…女性1名

㈱野村総合研究所…女性1名

㈱プラップジャパン…男性1名

森六ホールディングス㈱…女性1名

◇所属団体・企業種別で掲載了承をいただきました方

PR関連会社…男性2名 女性2名

一般企業(広報・PR関連部署)…男性1名 女性5名

一般企業(その他の部署)…男性1名 女性1名

各種団体…女性2名

自治体・行政機関…男性2名 女性1名

※上記PRプランナーの皆様には、事前に掲載の承諾を得ております。

(事務局・宮松)

**会 員 限 定****第 41 回親睦ゴルフ会  
日本カントリークラブで開催**

— 交 流 委 員 会 —

10月25日、「日本カントリークラブ」（埼玉県入間郡）にて、交流委員会主催の「第41回親睦ゴルフ会」が会員相互の交流と親睦を目的として開催されました。ゴルフ会には日頃より腕に覚えのある13名が参加、秋の爽やかな空気のもとで熱戦が繰り広げられました。

**第 6 回「広報活動研究会」開催報告  
パナソニック(株) 見学研修 9月20日開催**

— 企 業 部 会 —

今回で第6回を迎える広報活動研究会の活動では、さまざまな企業の広報部を訪問し、講演と施設見学を通じて、企業広報活動の事例を学んでいます。

今回は、総勢25名で、東京・汐留のパナソニック(株) エコソリューションズ社を訪問し、さまざまなお話を伺いました。

**第 8 回「広報ゼミ」を 10 月 18 日に開催  
「CSR素材を活かした広報活動」**

— 企 業 部 会 —

さる10月18日（木）16：00から、企業部会は「広報ゼミ」を(株)富士通ラーニングメディア 品川本社 会議室にて開催しました。「広報ゼミ」は、比較的少人数で各社の広報活動の実態を互いに共有・研究しあうもので、今回で8回目となります。

今回の「広報ゼミ」のテーマは「CSR素材を活かした広報活動」とし、15社17名の会員が参加されました。

)

## 会 員 限 定

### 第 23 回 P R スキル研究会 「今、使えるPR誌の機能とは！」 ～あとから効いて来るPR誌の機能とは！～

— P R 業 部 会 —

2012年9月26日に行われた第23回PRスキル研究会では、(株)一粒舎 代表取締役 多羅尾 智子氏を講師にお迎えし、PR誌についてお話を伺いました。多種多様のPR誌を実際に閲覧しながら進行するという工夫もあり、大変わかりやすく興味深いお話を伺うことができました。参加者は21名でした。

## R REPORT

### 第 142 回定例研究会

### NHKスポーツ放送 その舞台裏を探る —スポーツ報道、スポーツ番組は如何にして創られるのか—

講 師：(株)NHK出版

執行役員 編集局教育文化編集部長

橋本 隆 氏

第142回定例研究会を9月28日（金）、アカデミーヒルズで開催。講師は(株)NHK出版 執行役員 編集局教育文化編集部長 橋本 隆氏。テーマは「NHKスポーツ放送 その舞台裏を探る—NHKのスポーツ報道、スポーツ番組は如何にして創られるのか—」。38名の方にご参加いただきました。

## 「第46回プレミアム・インセンティブショー秋2012」 尾関謙一郎氏が併設セミナーで講演

10月18日（木）、当協会会員で「メディアと広報研究所」代表の尾関謙一郎氏が、東京・池袋のサンシャイン・シティで開催された「第46回 インターナショナル・プレミアム・インセンティブショー秋2012」（主催：ビジネスガイド社）の併設セミナーで講演されました。

毎年、春と秋の2回開催され、多くの来場者を集めているのが「プレミアム・インセンティブショー」です。販売促進や営業、マーケティング関係者を主な対象とするイベントながら、最近では市場に対するコミュニケーションにおいて広報・PRの果たす役割の重要性が認識されており、併設されるセミナーでは広報・PRをテーマとして講演が設けられています。今回の開催にあたっては、当協会の広報・PRの啓発・普及活動の一環として広報委員会を通じ、尾関氏に講演を依頼しました。



尾関氏の講演テーマは、「マーケティング（販促）広報は無料の宣伝か？ そう考えていると大やけど」。

長年、新聞記者や広報部長として活躍された尾関氏の豊富な経験をもとに、記者の考え方や行動原理に触れ、企業や団体にとって広報がなぜ必要なのか、その活動を進める上で注意すべきことは何かなどについて、90分間にわたり熱のこもった講演が行われました。

当日のセミナー会場では、一般企業やPR会社の広報関係者多数が参加しています。滅多に聴くことのないメディアの内幕を示す迫真に満ちた尾関氏の講演には、聴講者の多くが最後まで興味深く聞き入っていました。



## ELトレンド指数で見るキーワード・ランキング 2012年9月度

㈱エレクトロニック・ライブラリーは、2012年9月度の「話題のキーワード・ランキング」を発表しました。

これは、9月に発行された新聞96紙・雑誌約100誌のうち、「ELNET」に登録されているキーワード約263万語のヒット数の増減を数値化した「ELトレンド指数」等をもとに「一般キーワード」と「企業キーワード」に分けて分析したものです。

「一般キーワード」と「企業キーワード」のTOP10は以下の通りです。

### ■ 2012年9月度 EL一般キーワード TOP10

順位	トレンド指数	キーワード	順位	トレンド指数	キーワード
1位	12.95	反日デモ	6位	4.85	環境戦略
2位	12.64	日本維新の会	7位	4.67	地方票
3位	9.30	自民党総裁選	8位	4.57	日中関係
4位	5.52	国有化	9位	4.41	尖閣問題
5位	5.07	新党	10位	4.30	オスプレイ

### ■ 2012年9月度 EL企業キーワード TOP10

順位	トレンド指数	キーワード	順位	トレンド指数	キーワード
1位	2.97	鴻海精密工業	6位	1.54	シャープ
2位	1.66	日本取引所グループ	7位	1.49	ドイツ連邦銀行
3位	1.65	企業再生支援機構	8位	1.48	ECB
4位	1.56	ムーディーズ・ジャパン	9位	1.45	住友銀行
5位	1.54	中国東方航空	10位	1.43	コロワイド

※ELNETホームページでは毎月の発表を週刊にバージョンアップした上で、「ELウィークリートレンド」として毎週水曜日に発表しています。

詳細は以下ご参照ください。

<http://www.elnet.co.jp/el/trend/index.html>

**<コラム 関西の風>****安うて、美味しいのんが当たり前****三基商事(株) 総務課長  
佐藤 茂**

2002年4月総務部に異動になり、当時の常務から「広報の重要性」を強く訴えられ、PR協会加入に際しては関西の企業数社からもいろいろ教えていただいた。しかし、「何か、ヤヤコシイことになったなあ」と、いうのが当初の本音であった。ところが、企業広報の勉強を重ねる度に『危機管理』の重要性が認識でき、当社の体制整備に繋げることができたことは、PR協会に入会したからこそ達成できたことであり、ご指導いただいた諸先生・先輩方に感謝したい。

さて、総務になって大きく変わったのは、出張に殆ど行かなくなったことである。出張先で仕事を終え、駅近くの居酒屋で呑む冷えたビール！「グビッ」といって「プハー」、もう最高！！私だけではないだろうが、この瞬間のためにここまで来た。と言っても過言ではない。

帰りの電車や飛行機の時間がタイトな時は、会社近くの“立ち飲み屋”で呑むのは、帰巢本능が働いているのだと考えている。（これは、私だけ？）

当社はJR大阪駅から約5分。大阪駅前第2ビルにあり、地下の飲食街とりわけ“立ち飲み屋”はしばしばTVに取り上げられる程だが、「安くて美味しいのが当たり前」の大阪で生き残るのは相当大変である。

先月、隣接の大阪駅前第1ビルに新たな立ち飲み屋がオープンした。早速呑みに行った知人に聞くと「高い」「今どき外税やで」という。壁のメニューと値段を即座に頭の中の算盤ではじき、財布の中身と相談しつつ会話を楽しむ。十数円のことだが、僅かな小遣いを遣り繰りしている身には切羽詰った問題なのである。ビールの大ビンが1本330円だったり、豚シャブサラダ100円の店もあり、大阪の立ち飲み屋は「安くて美味しい！」を実践している。

来阪された際には是非、“大阪の立ち飲み屋”を経験していただきたい。注意していただきたいのは「ソースの二度つけ禁止」ではなく、隣で呑んでいるオッサンが、いきなり会話に割り込んでくる可能性があるということ。とりわけプロ野球シーズンの頃は顕著である。至る所に阪神ファンがおり、その殆どが監督、コーチになりきった話しを展開する。それにチャチャを入れる一見さんもいて、店内が笑いで満たされる。

そんな“大阪の立ち飲み屋”に「いらっしゃ〜い」

## ■ 会員便り

### 帝人(株) 宇佐美広報室長の「企業広報功労・奨励賞」受賞を祝う会が 森理事長、渡邊副理事長なども参加して盛大に開催

帝人(株) 広報室長の宇佐美 吉人氏が、経済広報センターが主催する第 28 回「企業広報賞」で「企業広報功労・奨励賞」を受賞したことを受け、そのお祝いの会が 10 月 12 日、お茶の水の「紫紺館椿山荘」で開催されました。

当日は、宇佐美氏と親交のある企業広報関係者、マスコミ、知人・友人など約 60 名が参加。

最初にあいさつに立った日本パブリックリレーションズ協会の森 健理事長は、宇佐美氏が広報 PR アカデミーの講師を務めるなど、協会でも大きな役割を担っていることを紹介するとともに、「これからも後人の指導をお願いしたい」と述べました。

次いで宇佐美氏の元上司で、帝人 O B の吉川 勝氏が乾杯の音頭をとり、(株)永谷園執行役員 広報部長の久我 光枝氏や、

「AERA」の記者で、P J ニュースの編集長も務める小田 光康氏が祝辞を述べました。

最後に中締めを行った日本パブリックリレーションズ協会の渡邊 幹夫副理事長は、広報仲間としてエールを送るとともに、協会活動では企業部会へのさらなる協力を要請。

会は終始明るい雰囲気にもまれ、答礼で関係者に感謝を述べた宇佐美氏に温かい拍手が送られました。



宇佐美氏のあいさつを聞く参加者たち



お祝いの花束を受け取る宇佐美氏。右は筆者

「企業広報功労・奨励賞」は、企業広報の発展に功労が大きく、奨励に値する独創的な企業広報を実践している広報実務者などに授与されるもので、このたびの受賞は、宇佐美さんが 14 年間にわたって広報業務に携わり、帝人グループのコミュニケーション活動を牽引してきたこと、B to B 企業として緻密な広報を展開し、コーポレートブランド価値の向上に貢献したこと、そして社内の広報マインドの醸成や積極的なメディア対応などの姿勢が評価されたものです。

お祝いの会事務局

廣野 友里恵 (株)タカオ・アソシエイツ

## ㈱タカオ・アソシエイツが「広報ツールの手引き」を作成 「報道分析の手引き」に続く「手引きシリーズ」第2弾

会員会社の㈱タカオ・アソシエイツが、このほど「的確な情報発信のための広報ツールの手引き」（A5判 52 ページ×2色、非売品）を作成しました。これは先に発行した「広報効果測定のための報道分析の手引き」に続く「手引きシリーズ」の第2弾で、広報部門が関わる各種広報ツールについて、その特徴や最近の傾向などを紹介しています。

紙媒体の広報ツールは、Webサイト、電子媒体、SNSの広がりの中で、ややもすると時代遅れのように見られがちですが、(財)経済広報センターが2012年3月に発表した「企業の広報活動に関する意識実態調査」によると、広報部門が対応している業務の割合は「社内報」や「PR紙・誌」の作成が3年前の調査より5ポイント以上増加しており、デジタル化の反動からか、従来の広報ツールが再び見直されるようになってきたようです。

本書では、こうしたデータを盛り込みながら、情報発信の手段、各種広報ツールのターゲットやポジショニング、特徴や最近のトレンドなどを解説。たとえば「ニュースレター」では、台割構成のサンプルなどを掲載するとともに、ニュースレターが有するリレーションズ効果やパブリシティ効果を実際の調査データに基づいて紹介。目新しい「手帳型ファクトブック」についても、その誌面イメージなどを掲載するとともに、マスコミからの評価を含めて特徴や発行意義を箇条書きで説明しています。

また、「社史・年史」については、ハードカバーの豪華装丁本ではなく、最近のトレンドである簡易型社史を紹介。これは、会社の沿革などを必要最小限にまとめ、ソフトカバーのハンディサイズとしたもので、印刷コストが大幅に削減できるほか、社員全員に持たせることでインナー・コミュニケーション・ツールとしての役割も担います。

そのほか、「企業出版」や「PR誌」では、そのPR的效果や歴史などを紹介。日本のPR誌のルーツは、胃腸薬の「宝丹」を販売していた守田治兵衛商店が明治10年(1877年)に出版した「芳譚雑誌」であること、また、企業出版の始まりは明治21年(1888年)に発行された天賞堂の「時計取扱方心得」であることなどが紹介され、これらの冊子が日本のPRの源流であるとしています。

ほかにも、「危機管理マニュアル」「CSRレポート」「社内報」「ホームページ(Webサイト)」について、その要諦や問題点などが説明され、最後に「広報ツール・手法の用語解説」「文章作成上の注意点」「取材上の注意点」「漢字・仮名の一般的な使い方」が補足資料として掲載されています。

本書をご希望の方は、ご連絡いただければ着払いでお送りいたします。

㈱タカオ・アソシエイツ 業務推進部  
木本 麻由  
TEL : 03-3296-0768



## PR SJ in Media

### ●10月24日（火） 『マイナビ ニュース』

当協会が認定するPRプランナー資格が、『マイナビニュース』の記事「ガチで役に立った資格ランキング」の中でとり上げられました。

「ガチで役に立った資格ランキング」は、活躍しているビジネスパーソンにとって、実際に役に立っている資格についてマイナビニュース会員200名を対象に調査を行い、その結果を報じた記事です。その中で、「広報担当の視点を得られ、企画書作りの精度が劇的にあがった」「広報に関する知識が増える」など、役立つ資格としてPRプランナーを推薦したビジネスパーソンのコメントが掲載されています。

以下は、本記事のURLです。

[http://news.mynavi.jp/c\\_career/level1/yoko/2012/10/post\\_2447.html](http://news.mynavi.jp/c_career/level1/yoko/2012/10/post_2447.html)

#### 編集担当より

**会員みなさんの情報をお寄せください！！**

本誌では会員の動向・消息や、会員から会員へのお知らせなどを積極的に掲載いたします。ビジネスに直結する情報に限らず、会員交流に関するものでも結構ですので是非ご一報ください。

### 編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。  
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、  
よろしくお願い致します。

#### 広報委員会

Eメール [mail@prsj.or.jp](mailto:mail@prsj.or.jp)

FAX 03-5413-2147

※ 禁転載